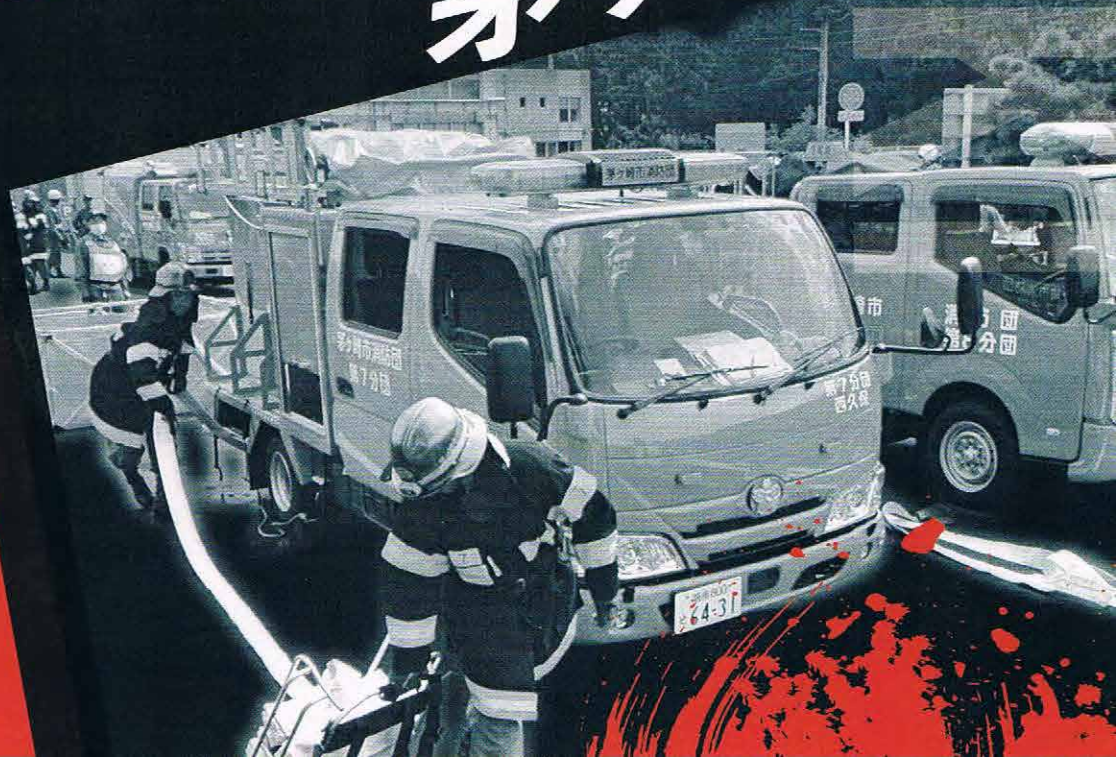


回 覧



仲間と守る。

茅ヶ崎市



あなたも茅ヶ崎市消防団に入りませんか

消防団員は、色々な職業を本業に持ちながら、いざという時に街のために動ける仲間たちの集まりで、自分のワークライフバランスを保ちながら地域貢献できる非常勤特別職の地方公務員です。

消防団活動を通して災害対応・防災・応急手当など一生役立つスキルを身につけることができ、なにより、年齢、職業を超えて『自分の街は自分たちで守る』という同じ志をもつ仲間と出会うことで、新たなコミュニティを広げることができます。ぜひ、あなたの『得意』を生かして地域を守ってみませんか。

私は普段、水泳・ヨガインストラクターをしています。父、叔父、従兄弟が消防吏員という消防一家に育ち、阪神淡路大震災での活躍に憧れて消防吏員になりました。出産を機に退職しましたが、再び消防に関わることができたらと思っていたところ、地域の消防団に欠員があると聞き入団を決めました。消防団の魅力は、本職を持ちながら消防・防災活動もできます。二刀流ですね！

消防団に入団してみると、私にはできないことや難しいことも勿論あります。でも私だからできることもきっと沢山あります。各々が足りないところを補いつつ得意なことを活かして活動していくことが大切だと思います。地域のために働きたいと思っている皆さん、ぜひ一緒に活動しましょう！

地域のために自分に何ができるかを考えたとき、身近な存在である消防団に入ることが、地域貢献につながるのではないかと思います。入団を決意しました。また、自分自身にとっても良い経験になり、新たな知識や学びを得られると感じたこともきっかけの一つです。消防団に入ってから、人命救助や防災に関する知識、技術を学ぶことができ、いざという時に行動できる力が身についたと感じています。さらに、地域の方々と関わる機会が増え、顔の見える関係を築くことで、地域の一員としての責任感やつながりの大切さを実感するようになりました。この経験を通して、地域を支える役割の重要性を強く感じています。

入団のきっかけは、地域の方の声かけでした。当時の副分団長から活動の雰囲気を知り、「新しいことに挑戦したい!」と思ったので入団しました。

入団前、私は実際に消防団が何をするのか分からず、知り合いもいなくて不安でした。ですが、入団してみると、分団の皆さんはとても優しくわからないことも丁寧に教えてくださいました。

私は勉強もあるため、毎回参加することができません。でも、地域のために活動したり、良い仲間に出会えたりと、入団して本当に良かったと感じています。入団前は不安もありましたが、無理のない範囲で参加できます。

迷っている方、少しでも興味がある方、ぜひ一歩踏み出して新しいことに挑戦してみませんか？

入団のきっかけは、現在一緒に活動している団員からの後押しでした。父が元消防団員だったこともあり、幼い頃から地域に携わってきた消防団には以前から興味がありました。地域密着の商売を営む身として、生まれ育った茅ヶ崎市に少しでも恩返しできればと思い入団しました。

入団後は防災への意識がより高まり、地域の方々との絆も深まりました。また、様々な訓練を通じて知識や礼式などを与えられた責務を全うしようという意欲も高まりました。何より活動を通して分団員をはじめとする新たな人脈が広がりました。その縁で本業のお仕事をいただいたり、同じ分団の方々に仕事やプライベートの相談に乗っていただいたり、公私ともに支えられています。僕たちは会社で働きながら、非常勤の地方公務員として活動しています。まずは本業を優先し、限られた時間の中で最大限活動に励みます。

いざという時、出動できなくとも仲間皆でフォローし合い地域に貢献するそんな消防団を僕は誇りに思います。

第21分団 団員
高橋 明日 水泳・ヨガインストラクター

第21分団 団員
高橋 美琴 幼稚園教諭

第21分団 団員
高橋 親子

第17分団 団員
荒 優月 学生

第11分団 団員
青木 遼太郎 酒類販売業

第5分団 班長
酒井 謙司 サービス業

第22分団 団員
王 雪琴 サービス業

第15分団 団員
久米 皓輔 タイル・外構等左官業

東日本大震災で宮城県にて災害ボランティア活動を行った経験から、地元に戻った後も災害時に人の役に立てる知識や技術を身につけたいと考えていたところ、消防団は消火や救助・救命に携われることを知り、入団を希望しました。

消防団では、ホースやポンプ、消防車両などを使用した消火活動や訓練に加え、地域の方への防災指導も行い、地域全体の防災力向上に取り組んでいます。また、消防職員の方の指導を受けられる環境で、エンジンカッターやチェーンソーなどの救助資機材を用いた訓練も行い、安心して知識と経験を身につけることができます。

本業や生活と消防団活動の両立が必要な中でも、参加できない際には消防団員同士でカバーし合い、無理なく活動が続けられる体制が整っています。今では消防組織の一員として、全国や海外にもたくさんの仲間ができました。

私は中国から日本に来て生活しています。消防団に入団する前は、「日本語も上手じゃないし、自分にできるだろうか」「迷惑をかけてしまわないか」と不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、実際に活動に参加してみると、団員の皆さんがいつも声をかけてくれて、分からないことも丁寧に教えてくれました。そのおかげで、少しずつ自信を持てるようになりました。訓練や地域の活動を通して、人の役に立てたと感じた瞬間、自分の存在や価値を強く実感しました。

この経験は、私自身を成長させてくれただけでなく日本での生活をより前向きなものにしてくれました。また、地域のために行動する姿を子どもに見せることで親として良いお手本になれたらと思っています。

入団に不安を感じる方もいると思いますが、その気持ちは自然なことです。消防団には支え合う仲間がいます。一歩踏み出せば、きっと温かく迎えてもらえます。安心して挑戦してください。

地域の消防団に入団して4年。普段はタイル・外構職人として現場で働いています。水平を取るのも、ブロックを積むのも、消防団の活動と同じで“ズレると危ない”。そんな職人仕事で鍛えた体力と段取り力は、消防団でもしっかり活かしています。

入団前は「自分にできるのか」と不安もありましたが、先輩方の丁寧な指導と仲間の支えで、今では地域を守る一員として胸を張って活動しています。

火事場では慌てず、現場では手を抜かず、締めるところはきっちり締める。これは職人も消防団も同じです。消防団は地域を守る力を必要としています。あなたの力が本当に必要です。仕事と両立しながらでも大丈夫。私もその一人です。

一緒に地域の安心の“土台づくり”をしませんか。新しい仲間を心からお待ちしています。

資器材取扱訓練

ロープを使用した基本・応用結索訓練、チェーンソー・エンジンカッターの取り扱い等を実施しています。



消防訓練

様々な火災に対応するため消防庁舎の放水壁や消火栓及び防火水槽などの訓練施設や公共施設を借用して消火戦術や放水技術の能力向上を図っています。



訓練礼式

災害活動には、各団員安全かつ迅速な行動と一糸乱れぬ部隊活動が必要不可欠であり、規律訓練はその根幹となります。訓練礼式を通して礼節、規律、品位の向上に努めています。



火災予防運動・火災特別警戒に伴う警備・警戒

春、秋の火災予防週間や歳末の火災特別警戒の期間において、火災予防啓発活動として消防車両で管轄地域の防火広報を実施しています。



消防団員募集

入団電子申請から入団完了までの流れ

step.1

右記のQRコードから茅ヶ崎市ホームページの「消防団の紹介・募集案内(入団電子申請)」へアクセス



【入団電子申請】

step.2

氏名や住所、職業など入団に必要な項目を入力してデータを送信

step.3

本市消防本部事務担当者から電話で消防団の活動内容や年間行事などの説明を受ける

step.4

地区を担当している分団長(リーダー)から説明を受ける

step.5

入団届を提出して入団完了

Instagram



@FIRE_CHIGASAKI

YouTube



茅ヶ崎市消防団PV
「街の二刀流たち」

茅ヶ崎市消防団の活動はこちらから！

茅ヶ崎市消防団の主な年間行事

日程	行 事
4 月	新入団員研修
	大岡越前祭パレード警備
6 月	車両安全運転研修
8 月	花火大会警備
9 月	資機材取扱訓練
10 月	火災想定訓練
11 月	訓練礼式
	秋季火災予防運動
	女性活性化大会
12 月	歳末火災特別警戒に伴う出発式
	歳末火災特別警戒
1 月	消防出初式
3 月	春季火災予防運動
	県消防功労者表彰式

※行事内容や年間スケジュールは年度毎に変更します。

茅ヶ崎市消防団 処遇

年間報酬

階級	区分	報酬額
団長	年額	82,500円
副団長	年額	69,000円
分団長	年額	50,500円(消防団本部に所属する分団長にあっては、69,000円)
副分団長	年額	45,500円
部長	年額	37,000円
班長	年額	37,000円
団員	年額	36,500円

出勤報酬

区分	支給単位	報酬額
災害の場合	1日	4,000円(出勤時間が4時間以上の場合にあっては、8,000円)
警戒、訓練等の場合	1日	2,000円(出勤時間が3時間以上の場合にあっては、3,600円)

茅ヶ崎市消防団 組織図

